



平成 28 年 4 月 18 日

九州地方整備局

【平成 28 年熊本地震対応】

『土砂災害現地調査チーム』による土砂災害状況調査結果

（熊本県・市町村の支援）について（4/17 調査分）

<目的>

○昨日設置した『土砂災害現地調査チーム』による調査結果について、以下のとおり報告します。

1. 調査結果（4/17 調査分）

①ヘリからの目視調査（阿蘇地域の被災地広域調査）

：ヘリから確認できた土砂災害発生件数は別添のとおりです。
その中でも、南阿蘇村の「火の鳥温泉地区」及び「濁川」は、
2次災害発生の危険がある。

②マルチコプターによる空中からの調査（阿蘇長陽大橋付近）

：崩壊範囲と状況を撮影

2. 本日（4/18）の調査予定

調査箇所：「火の鳥温泉地区」及び「濁川」

調査内要：①地上からの被災状況調査

②マルチコプターによる空中からの調査

※調査後の取材は下記にて応じる予定。

・九州地方整備局会議室

※取材希望の方は下記までご連絡下さい。

【問い合わせ先】

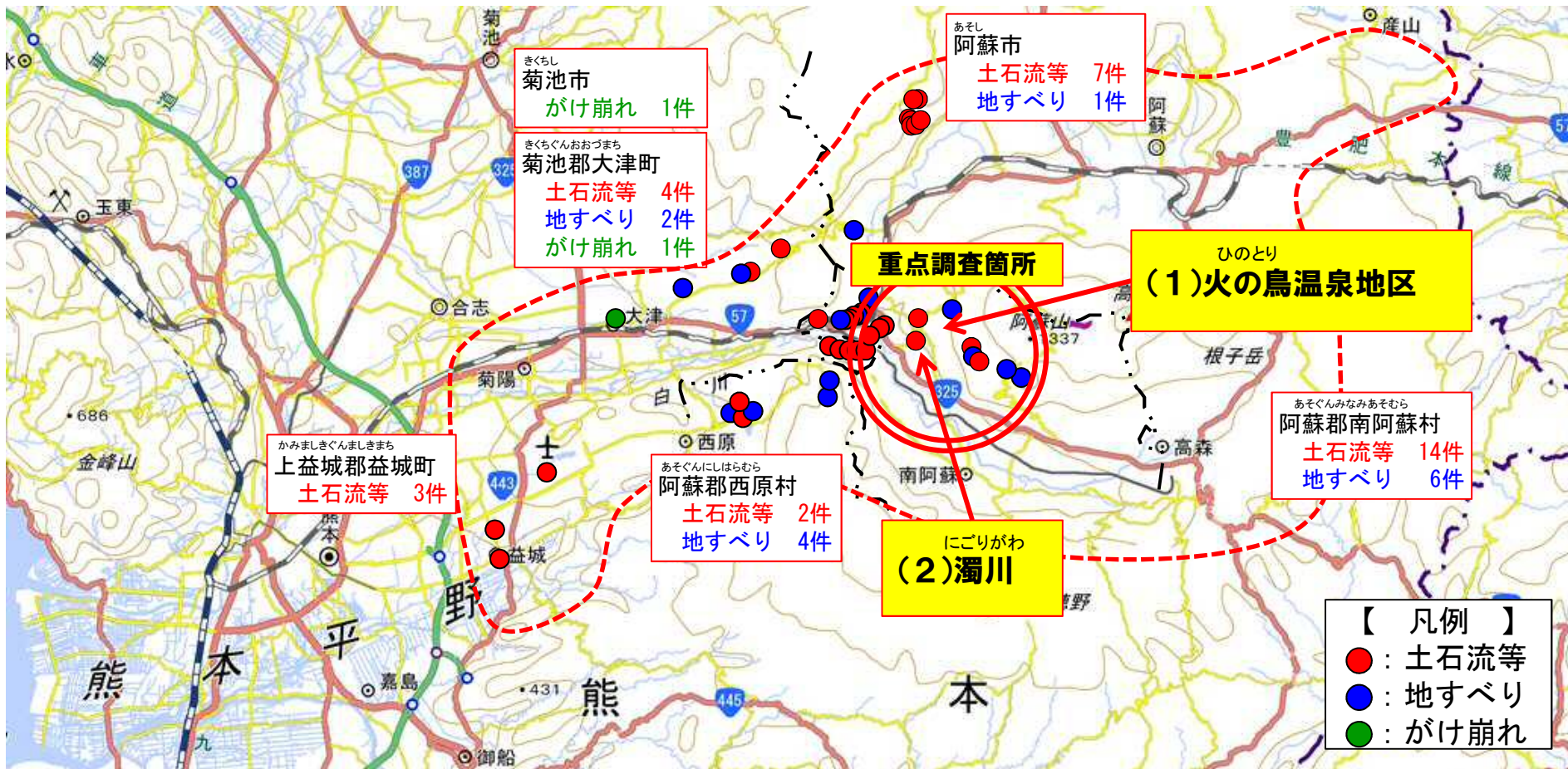
国土交通省 九州地方整備局 河川部

河川計画課長 坂井 佑介

電話：092-414-7301（本部直通）

計		
土石流等	30件	
地すべり	13件	
がけ崩れ	2件	

九地整防災ヘリ(はるかぜ号)にて、 内の調査を実施。



※ただし、災害発生件数については現在鋭意調査中であり、今後変わる可能性があります。

(1)火の鳥温泉地区における土砂災害の状況



(2)濁川における土砂災害の状況

